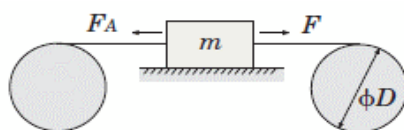


タイミングベルト・プーリー駆動の機構仕様例



テーブルとワークの総質量	$m = 3.5$ [kg]
摺動面の摩擦係数	$\mu = 0.05$
プーリーの直径	$D = 31.85 \times 10^{-3}$ [m] (31.85 [mm])
プーリーの幅 ※	$L = 20 \times 10^{-3}$ [m]
プーリーの材質 ※	アルミ(密度 $\rho = 2.8 \times 10^3$ [kg/m ³])
プーリーの効率	$\eta = 0.9$
要求分解能	$\Delta l = 0.1$ [mm/step]
送り量	$l = 200 \pm 0.1$ [mm]
位置決め時間	$t_0 = 0.4$ [s] 以内
加速時間	$t_1 = 0.1$ [s] 以内
起動パルス速度	$f_1 = 0$ [Hz]
傾斜角度	$\alpha = 0$ [°]
外部減速比	$i = 1$ (減速機構なし)
重力加速度	$g = 9.807$ [m/s ²]

※ プーリーの質量がわかる場合は、幅および材質の確認は不要です。